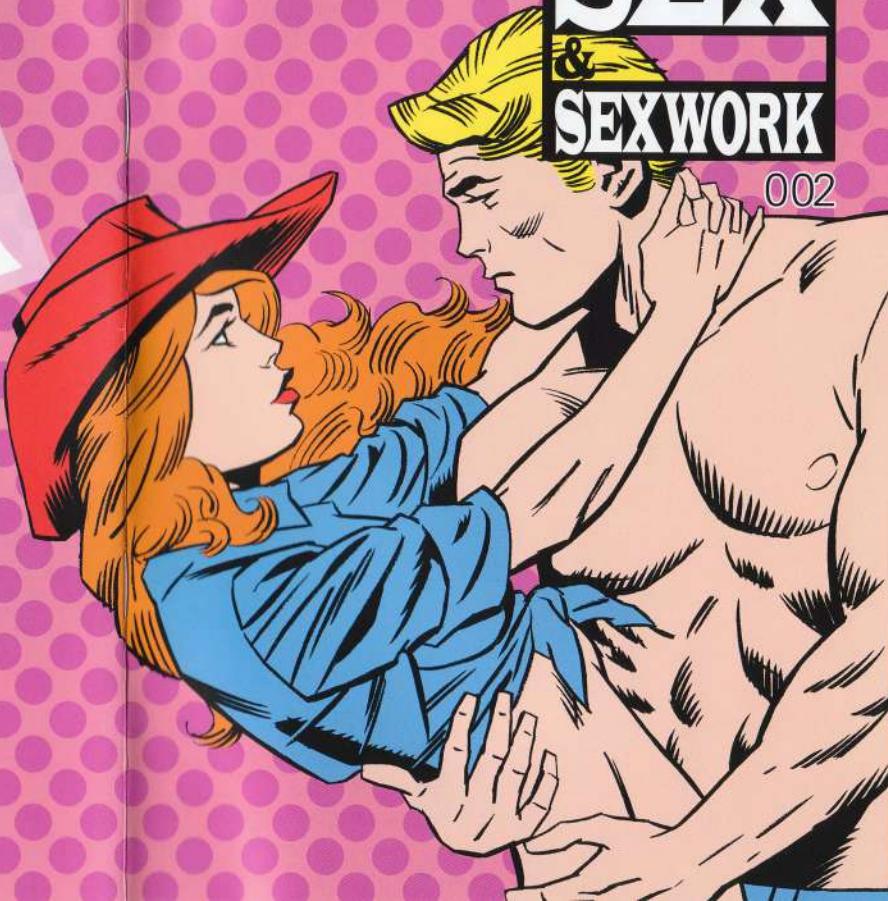


セックスの安心と安全を考える情報誌

# SEX & SEXWORK

002



## ACTION

TAMIYA RYOKO  
PON-PON-MARU  
KANAME YUKICO

## RESEARCH

NOSAKA SACHIKO  
HIGASHI YUKO

## COLUMN

HIGASHI YUKO  
MORIUCHI KEN  
TAMIYA RYOKO

## ILLUSTRATION

GOHO IMAZUMI  
ARITA TADASU  
LADY MOMONGA

## PAPER CUTOUT WORK

YOKOYAMA ROMANCE

## PHOTOS

TANI ATSUSHI  
MAJIMA RIOTA

## DESIGN

KAJI YOKO  
TOKIKA HISAE

## SPECIAL THANKS TO

TANIGUCHI KYO  
UCHIUMI EIICHI  
SUH SOOKJA  
SHIBUI TETSUWA  
KERURU GUNSO  
DAI  
TSUJI YOSHISHIRO  
YAMADA SOHO  
AFREEDA OBREAT

## EDITORS

MOMOGCA MOMOCO  
SIMONE FUKAYUKI

活動報告  
タミヤリョウコ  
ほんばんまる  
要友紀子

研究報告  
野坂祐子  
東優子

コラム  
東優子  
森内恵  
タミヤリョウコ

イラスト  
ゴホ今泉  
有田庄  
レディー・ももんが

切り絵  
横山浪漫

写真  
谷敦志  
馬崎亮太

デザイン  
加治陽子  
跡岡寿江

協力

谷口恭  
内海千穂  
鈴置子  
渡井哲也  
けるる草書  
ダイ  
辻芳晴  
山田紹平  
アフリーダ・オー・プラット

企画編集  
桃河モモコ  
シモーヌ深雪

この冊子は、厚生労働科学研究補助金エイズ対策事業  
「高危険実業（とくに性交渉に係る人々、移住労働者）のHIV感染予防対策とその介入施策の評価に関する研究」  
（研究代表者：栗澤千子／大阪府立大）により作成されました。

発行／2009年11月・印刷／株式会社林印刷所 © SEX & SEXWORK 著・栗澤千子

この冊子に関するご感想やご意見をお寄せください。▶ info@sexba.jp

セックスの安心と安全を考える情報誌

# SEX & SEXWORK



002

## showcase 1

photo 谷敦志

## contents 2

## action 3-6

### 特集1

#### パリ国際エイズ会議報告

text クミヤリョウコ、ばんばんまる、妻友紀子

illustrations 有田真

～風俗嬢に安心して働ける未来はあるのか？～

この夏、インドネシアのリマ島で、エイズ国際会議が開催されました。

そこに参加した日本の3人の風俗嬢・セクスワーカーが「セックスワークをめぐる国際情勢」をリポートします！

## research 7-8

### セックスワーク&HIV/AIDS

text 東嶋千子

## research 9-10

### 特集2

#### 「女性の性行動とセクシュアルヘルス」調査報告

text 厚生労働省エイズ対策研究班更迭/厚労分担研究

illustrations レディー・もんなん

あまりセックスをしない人や興味がない人、アクティブに楽しんでいたり…。セックスは「こうでなくっちゃ」というものではないけれど、どんな人も、安全に、安心してセックスをしたりしなからり、好きなようにできたらいいですね！

でも、女性にとって、セックスはしばしば不快な体験をともなうものだったり、性感染症や予定外の妊娠などの心配にみわれるきっかけになります。

ゴンドームを使うこと決める事、ちゃんと着用できること、イヤな行為はしない・さないこと、自分のからだをよく知っていること…どれも性的健康（セクシュアルヘルス）にはかせないことです。

お互いに安全に安心出来るセックス、してますか？

## showcase 11

art 横山進漫

## books 12

### 快楽と文学

text 遠内重

## health 13-14

### リョウコ注目の性感染症<クラミジア>

text クミヤリョウコ

supervision 谷口恭

photo 黒瀬亮太

illustration 基紙 ツッホ今泉

SEXの安心と安全を考えるサイト  
<http://www.sexba.jp>



## 風俗嬢が安心して働ける未来はあるのか?!

闇う世界のセックスワーカーの最新情報を  
3人のセックスワーカーがレポート!!



こんなコトがバリ島で!?

風俗嬢が体験した  
国際エイズ会議

タミヤリョウコ

プロフィール

関西で営業風俗店、田中謙長名義で、風俗求人フリーペーパー「モロコ」にてSTDアラム連携店、既設セックスワーカーによる編集プロダクション「SEXY MOUNTAIN」を主宰し、定期的にSTDパンフレットを発行。性感染症予防レクチャー講演、フリーペーパー制作等を行なっています。

◆お問い合わせ: SEXY MOUNTAIN:  
<http://sexymountain.com/>

「エイズ会議かあ…」お誘いを受けたとき、少し迷いました。2009年のアジア環太平洋地域のエイズ会議開催場所は、インドネシアのバリ。実は私は海外にいくのもはじめてで、遊びにいくのも一決心りますが、目的は国際会議、ただ行くだけやったる時間とお金がもったいないなど。が、今回は、大阪府立大の東さんや、セックスワークの問題を取り組んでいる友人數人もいくといし、じやあ、会議を体験しながら、それぞれの意見を交換したりできるかも、そんな機会はめったにない…よし! 思い切っていくことにしました。

南国の楽園バリの8月は熱すぎもし

ない、Tシャツで快適に過ごせるバッチリの季節。私が滞在した9日から11日は、まさに会議日和(?)の毎日でした。国際エイズ会議は2005年の神戸でも少しだけ参加しましたが、その時と同じく、各国からの参加者の多さ、エネルギッシュな雰囲気にこちらの興奮も高まりました。多様な肌の色、そして民族衣装をきている人々の大勢おられて。うへん、壮观。

メイン三日間は、会場内で、大小様々な口頭発表が聞かれます。私の参加希望は、やっぱりセックスワーカーのことがテーマになったもの。膨大なプログラムの中から、目当てのテーマのを見つけるのも大変ですが、CD-ROM化されたプログラム解説覧でなんとかピックアップ。実は、同じ時間にいきたいのがいくつも重なるぐらいで、セックスワーカーがテーマになったセッションはたくさん開催されていました。それだけ、HIV/エイズとは切っても離せない重要な議題なのですね。結局参加できたのはごく一部ですが、その様子は、せくすばっサイトの管理人ブログで報告していく予定です。

この会議に参加してよかったことはふたつ。ひとつは、大会議場で開かれ

る午前中の最初のセッションで、エイズ会議が様々な問題にたいして全体基調を発表するのですが、そこでの声を聞いたこと。HIV/エイズに取り組む上で重要とされるターゲットとして、HIV陽性者、AIDS患者、LGBT(レズビアン、ゲイ、両性愛者、トランスジェンダー)、静注薬物使用者、セックスワーカーという層がありますが、多くの地域でその層が「犯罪者」として扱われたり、差別されることにより、人道的な予防政策を推し進める際の困難を深めています。声明は、各國・各層の代表が、その困難を取り除くよう要請する、というなんとも頼もしい内容でした。

具体的には、非犯罪化する、等。もちろん、この辺りの問題はとても難しく、たやすく解決できることではありませんが、実際に私が日本の風俗業界において、STIやHIVが防ができない状況と、世間一般的な差別イメージ・法律がとても関係していることは肌で感じています。なんらかの形で風穴をあけないと、風俗で働く人の性的な安全を確保することはできなんだろう、痛感します。

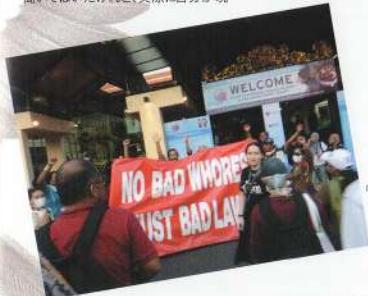
あと、風俗の問題は、そのせまい範囲で終結する話じゃなくて、風俗を利用する人、およびその家族やパートナーなど、ものすごく広範囲の人々に

関係することだということ、付け加えておきたいです。どこの誰にいたらいか、皆目わからなければ、日本の充春環境の明日を握っている皆さんに、そのことを訴えたいものです。

行委員会に対してデモを行い、主張することなど、全部が日本の片隅でひつそりと生息している一介の風俗嬢には、新鮮で、圧倒されました。

さて、帰って来た私の課題。ワーカーがそうでもないかに限らず、性の健

康は誰にとっても大事で、私は風俗で働く者として、その現場が少しでもよくなることをやっていこう、改めて思い聞いていたけれど、実際に自分が現



'NO BAD WHORES  
JUST BAD LAW'  
会議中に行われた  
ワーカーのデモ

ました。が、力をもった反面、アジアのワーカー活動家が展開する動き、「我々に権利を!」そんな風なストレートで素直な主張は、日本では、一般にも、また風俗嬢にも、ぜんぜん受け入れられる土壤はないやろな、としみじみ。では、日本で環境を変えるとしたら、いったいどうしたら? また考え続けたいです。

TGセックスワークの  
グループつくりませんか?

ほんばんまる

プロフィール  
ニューハーフショーダンサー

世界のセックスワーカーコミュニティには、ゲイやトランスジェンダー(以下TG: 身体の性別が自覚している性別と違う人、私がよく出会うのは男性から女性(MTF))のセックスワーカーも集まってる。セックスを売る女とか、それを買う男、イメージだけではTGセックスワーカーの問題はうまくとらえることが出来ない。なのでアジアの団体はセックスワーカーの件のひとつとして、TGやゲイのプログラムを作り、予算をわりふっている。

それらのコミュニティに関わるのはTGワーカー自身だけじゃなく、当事者ではないサポーターもある。勉強会ではTGやセックスワーカーの人権や労働環境、病気・性転換手術、家族環境、法律などがありあげられる。性差別や宗教的な影響のために差別、偏見を受けやすい社会において性的マイナリティに対する理解がとぼく、カムアウトするのが難しい国では、ワークショップを開く際にプライバシーを守り、安心して話してもらうために、開く場所や日時、会議の名前を伏せ、暗号化するなどの工夫を

## 風俗嬢が安心して働ける未来はあるのか?!

闇う世界のセックスワーカーの最新情報!  
3人のセックスワーカーがレポート!!

していた。他の国の事例では、サポーター・グループが夜の繁華街でタクシー運転手や屋台定員に「もし暴力から逃れようとしているセックスワーカーがいたら、かくまつたり一時的に逃がしたりできるよう」声を掛けて居るアーティーチの活動もある。

いま日本には情報交換したり日本の窓口となる、当事者とサポーターからなるグループの立ち上げが必要になると考えている。(すでにあるんだったら出会いたいな。)それにあたって上でのべたような海外の例を学びながら日本でもTGセックスワーカーが安心して働き、活動する場所をつくっていきたい。

これらTGセックスワーカーのことは他の性産業も他人事として、ほっといてはいけない。性産業のさらなる労働権利をさけるなら、TGや外国人などのマイナリティのことなど他人事ではない。国や自治体が繁華街から性産業をおいだそうとする「浄化政策」や、売春防止法など法律や行政措置、警察からの摘発、宗教や性道徳のおしつけ、行政介入など、当事者の意見を聞かずに労働状況をかえることは解決への道にはならない。結局はセックスワーカーが働く環境をアングラーグラウンドにもぐらせ、ハイリスクな環境に追いやりだる。そのような事態にならないためにも、性産業と同じ現場で働くたちやサポーターの現実的な行動が必要だ。

## 世界中のセックスワーカー集まれ!

### 友紀子

#### プロフィール

セックスワーカーの安全と健康のために活動するグループSWASH(Sex Work And Sexual Health)メンバー。著書に『風俗嬢意識調査-126人の職業意識』(ポット出版)など。

#### ◆Webサイト

<http://swash.sakura.ne.jp/>

アジアのセックスワーカームーブメントの歴史は30年近くになる。80年代前半に起こったエイズバニックをきっかけに、セックスワーカーへの取り締まりや人権侵害が強まり、タイをはじめとしてアジア各地でセックスワーカーの自主的なサポートグループが次々に誕生した。そして、1991年にセックスワーカーの国際的なネットワークNSWP(Network of Sex Work Project)が設立。

1994年には、国際エイズ会議(横浜)で、一般的な国際会議では初めてセックスワーカー当事者が公に「セックスワーカーは労働である」ということを市民社会に訴え、そこに参加した当事者が「アジアのセックスワーカーネットワーク・APNSW(Asia Pacific Network of Sex Workers)」を発足させた。それ以降、毎年いろんな国で開催される国際エイズ会議には、世界各国からセックスワーカー、そのサポーターが参加した。今回議題となつたのは主に、1.法執行機関や政策などに

HIV/STD予防を含む、仕事における健康と安全について幅広い同心から情報や問題をシェアし、自分たちの権利を守るために活動を続けている。

ネットワークの目的は、セックスワーカーとHIV予防などさまざまな情報共有のほか、組織の作り方・資金調達方法の伝授、今ある組織のテクニカルな手助け、セックスワーカーと人権に関するアドボカシー活動など、多岐にわたる。アドボカシーの課題としては、セックスワーカーの労働権を侵害するような政策やプログラムをやめさせること、セックスワーカーの合法化/非犯罪化、各種社会保障へのアクセス、治療や検査、教育を平等に受けられることなどが大きな柱であるが、具体的には、セックスワーカーが働きにくくなるようない100%コンドーム使用政策(コンドーム所持が逮捕の根拠にされている問題など)や、セックスワーカーが人身売買のスケープゴート、温床、犠牲者とみなされたり、逮捕されたり保護更生の対象とされること、移動の自由が制限されたり、権力による過剰な監視、強制的な血液検査など、さまざまな問題に取り組んでいる。

今年の国際エイズ会議(ICAAP2009・パリ会議)には、APNSWから、**14カ国、約80名**のセックスワーカーとそのサポーターが参加した。今回議題となつたのは主に、1.法執行機関や政策などによるHIV予防支援の妨害問題、2.セックスワーカーに関するプログラム立案過程への当事者参画の要求、3.基金供給体制の問題、4.女性差別撤廃委員会(条約)の問題点、5.人身売買対策の失策。

6.100%コンドーム使用キャンペーンの弊害、7.TG、MSMのセックスワーカーへの理解と支援の欠如。この問題についてのステートメントはオーストラリアのグループScarlet Alliance, Australian Sex Workers AssociationのWebサイトであることができる。

[http://www.scarletalliance.org.au/events/09\\_10/icaap\\_09](http://www.scarletalliance.org.au/events/09_10/icaap_09)

国連などの国際機関、政府系機関、NGO、学術関係者、医師、各コミュニティの当事者などさまざまな立場から毎回数千人の人々が参加する国際エイズ会議で、セックスワーカーコミュニティが参加するには大きな意味がある。とくに発展途上国の経済・社会開発と同時に広がるHIV予防プログラムにおいては、**セックスワーカー当事者がリードしていくことが前途有望である**。セーフェックスのサービス提供のスキル普及を目的としたスキルズピッティングのワークショップの演目は、性産業におけるHIV予防効果測定の際、**男性顧客の行動変容**を目安にすることにシフトさせていくことを促すものであり、セックスワーカーに対するステigmaの解消にも繋がっていく。

ぜひ来年のウィーン会議、再来年の韓国と一緒に参加できたらと思う。



## セックスワーク & HIV/AIDS

東 優子

大蔵市立大学人間社会学部准教授

### 差別・偏見・ステigma との闘い

「ステigma、歧視、差別、拒絶ながらに恵まれたのは、予防・ケア・治療のための努力を重視し、個人・家庭・地域社会および国家に対する影響を増大させる。」——これは、2001年8月、ニューヨーク国連本部において開催された「国連エイズ特別総会」で採択された「HIV/AIDSに対するコミットメント宣言」(Declaration of Commitment on HIV/AIDS)からの抜粋です。「宣言」は法的拘束力をもつてはありませんが、各政府は対策の具体的目標を立て、市民社会の能力を総なめながら達成していく義務を負っています。そして各国における重点的課題は、HIV禍の影響を最も強く受け、最も高いリスクに曝されている人々への対策です。日本のエイズ対策においても、若者・外国人・MSMと並んで、セックスワーク者および顧客は「人権や社会的背景に最も偏重したまき扱く効果的な施策を追加的実施することが重要」なる「個別施策」で挙げられています。

サハラ以南アフリカ諸国を除き、世界でHIV感染の最も高いリスクにさらされているのは、MSM(男性とセックスする男性)、静注麻薬使用者、そしてセック

スワークとその顧客です。彼らに共通する問題は、社会的ステigmaや偏見に加え、彼らの暮らす地域・社会で施行されている法律や規制が、HIVサービス(治療・ケアを含む)へのアクセスを阻害する要因になっていることです。2009年8月にインドネシア・パリ島で開催された「第9回アジア太平洋地域国際会議」で、エイズ・アクセス財団(タイ)の代表は次のように訴えました。

「少なくとも11カ国で成人男性同士の合意に基づくセックスが非法とされ、警察によるハラスメントにさらされる状況下にあって、MSMのエンパワメントに向か期待できるだろうか。静注麻薬使用者がいま日常的に刑罰所に送り込まれている一方で、麻薬に絡む金融家たちが自由の身で強大な力を握り続けるタイやインドネシアをはじめとする多くの国で、どうやってハーム・リダクションが十分な成果を上げることができようか。セックスワークたちが自由に顧客を選び実施する自由をもつて、エージェントや人身取引の仲介者に導られ続けている状況下で、どうやって自分たちの身を守ることなどできようか。」

### セックスワークの 安心と安全

セックスワークの處かれた社会的状況やそれに起因する社会的不利益は、HIVサービスの提供を阻害し、HIVの感染への脆弱性を高めることになります。人身取引(トラフィッキング)という犯罪に巻き込まれ、インドのムンバイで強制的に働かされているネパール人SW(女性)の実に半数がHIVに感染しているという報告があります。安易に比較することはできませんが、その一方でセックスワークが合法化されているオーストラリアやメキシコ(国内の1/3で合法化)など、セックスワークの存在が広く認知され、国家政策として包括的アプローチが実施されている地域では、女性セックスワークのHIV感染率は1%と低く抑えられているとも報告されています。

どのように確実でも、新しく仕事に就けばその職務を安全に遂行するための指導や研修を受けますし、被雇用者としての権利についても説明されます。たとえば、セックスワークが合法化されているニュージーランドでは、労働省・職業安全保健局が「ニュージーランドの性産業における職業上の健康と安全に関する手引書(A Guideline Occupational

Health and Safety in the New Zealand Sex Industry)」を発行しています。この手引書は、セックスワーク(被雇用者として自らの店舗や組織に雇用されている人々のみならず、街頭や自宅で営業する自営者も含む)や経営者、さらにはセックスワークを利用する顧客などに対して、法律の周知と実質化を促すことを目的に書かれており、具体的なミニチュアや注意事項・義務事項が含まれています。

「売春防止法」(1956年制定)が施行されている日本はどうでしょうか。これまでに関係者に何ったところでは、たとえ経営者がコンドーム使用徹底の必要性を認識していたとしても、法律で禁じられている行為は実態に含まれていないことになっているため、店内に常備するところさえ少ないといいます。

セックスワークは自衛手段を講じるしかないわけですが、とくに「非ホンコン系」といわれるヘルスなどでは、コンドームを使用しないのが「当たり前」となっており、セックスワークが性感染症(HIVを含む)に罹患するリスクは避けられない状況にあります。

### セックスワークが 安全に働く未来

かつての日本では、「赤線」で働く女性たちが娼婦活動を展開するなど、「コミュニティ」と呼ばれるものが存在していました。全国的な反対運動もむなし、「売春防止法」が制定され、こうした大規模な当者権組織も解散になりましたが、現在でも、セックスワークの非犯罪化、そして安心・安全に働く環境を求める、NGOとして、あるいは信人として、地理的な活動を継続している人々がいます。

1994年の「横浜・国際エイズ会議」で、日本のワーカーとして初めて発表した桃河モコさんは仲間と始めた「SWEETLY(Sex workers! Encourage, Empowerment, Trust and Love Yourself)」や、1999年に誕生した「SWASH(Sex Work and Sexual Health)」(現代表・妻友紀子さん)の活動は、近年のそうした一例です。若い世代では、ブログやホームページを中心に活動を展開する個人も増えています。

こうした人々と研究班(※)が一緒にになって、現在、さまざまな活動を展開しています。過去3年にわたって開催してきたイベント「セックスワークのいる

まち」その一例です。そのメインコンセプトである「ワーカーとお客、ワーカーと経営者、興業種のワーカー同士、ワーカーとワーカーではない人、コミュニティと行政と医療機関などの間にある『ギャップ』に、あきらめたり目をそむけたりすることなく」という思いが、セックスワークが安全に働く未来へつながっていくことを願ってやみません。

わたしたちが暮らすこの街には、セックスを仕事とする人たちが今日も働いています。

※2006年度に発足した厚労省エイズ対策事業「日本の性娛樂施設・産業に係わる人々の支援・予防対策の開発に関する学術的研究」(2006-08年度)、および「個別労働層(特に性風俗に係る人々・移住労働者)のHIV感染予防対策と介入効果の評価に関する研究」(2009年度)





books  
of SEX & SEXWORK  
text MORIUCHI KEN

快 楽 と 文 学

森内 喜

珈琲舎・書籍アラビック店主 / Luftアラビック  
◆http://www.arabiq.net/

# オルガスマシン

イアン・ワトソン著

スコット・コラマジン

## 『オルガスマシン』

イギリスを代表するSF作家、イアン・ワトソンは67年から70年にかけ、日本の大学で英文学の講師を勤めた。その滞在経験を活かして70年に書かれた小説が、オトコの性的欲求を満たすために生み改造された女達の被虐と反抗とを描いた『オルガスマシン』だ。女性の虐待の様子を描くことを目的とした小説ではなく、逆説的に男性優位社会を風刺しているのだが、内容の反社会性から2009年の未だ、原書である英語版は出版されていない。フランス語、ポルトガル語、日本語版が刊行されたのみである。

アニメのように青い縫を大きく改造された主人公。毛皮と爪に身にまとった獣女。7つの乳房をつけられ、バーで慰みをとさる少女。彼女らを開拓したのがミキモトの真珠島で天啓を受けた日本人だというのは、クール・ジャパンを予見つかのものもある。

リーマンショックまではアートフェアに行くと、サブカルチャーを現代アートの文脈に乗せてたっかいいお價段をつけた作品がばんばんと売れていく状況だったのですが、突然の不況、あいあい作品はいまどこで何をしているんでしょうね。オルガスマシンたちの開発者たち同様、作品たちは手癖くじへ返さないものから、と考えてみたり。アートや媒体開拓人形を取り扱う書評家としては売れるかな、で隆盛を誇ったディーラーの行く末に思いを馳せるのでありました。クール・ジャパン!

このような物語の定番なのですが、女達の反抗の際にペニスを切られて死ぬオッサンが登場。お氣をつけあれ(笑)

高橋睦郎著

## 『聖三角形』

60年代から活躍した詩人にして歌人にして俳人にして評論家である高橋睦郎。そのすべてのジャンルで超一流の業績を残してきた彼が、キャリアの初期に書いた小説集が『聖三角形』である。

収められているのは「聖なる岬」「正三角形」「聖所伝説」。

「聖なる岬」は、主人公が生まれ、中学校を卒業するまでの期間を描いた自伝風の小説。半島(=英語でpeninsula)これはpenisと同じ語源)や灯台や天狗といった突き出たもののイメージが頻繁に登場する。それらの濃密なイメージに囲まれた少年「高橋睦郎」が、燈台見物にいた際に地元の老人に入浴をすすられ、なすがままにされてしまうという物語。

「正三角形」は実験的小な小説。3篇の短篇小説から構成されている。病んで肉体から離れ、浮遊する語り手がその愛する息子を回想する「a 椅子」、母親から息子に寄りたて、愛想めいた夢が綴られた手紙で構成された

「b 夢占」、死産した双子の娘の存在が日に日に大きくなり、意識と肉体とを紡ぐていく青年を描いた「c 雨」。いずれの作品も、肉体や精神の限界に、近親者と自己との距離を見失い、近親相姦的な関係をかたちづくる物語である。abcは相似をかたちづくっていると言える。

「聖所伝説」はヴェネツィアのハッテン場で一度出会った巨乳の「王者アントニオ」を求める「私」の物語。たくさん出てきます、何が? ナニ。

詩人であり評論家である高橋の文章力は無駄がなく、それでいて緻密。くいぐいと妄想に引き込まれていきます。

このような物語の定番というわけではないですが、『聖所伝説』では主人公の妄想で、切られたペニスを喉に詰ませて死ぬ少年王が登場。お氣をつけあそばせ(泣)

# 聖三角形

1972年  
新潮社

タミヤリヨウコ注目の性感染症  
クラミジア特集  
なんともなくても定期検査！

「できれば病気にならず、お仕事したい！」業界で働くなら昔が嫌っていることですよね。それには、1)どんな病気があるか知る、2)定期的に検査に行く、3)できるだけ危険な行為を避けることが大事です。今回は、今日本で一番感染している人が多い性感染症、クラミジアを特集。まったく何も症状がないけど、いつの間にかかかっていたり、遊びにきちゃってるお客さんにももしや？の可能性が高いこのSTI(性感染症)、どんな病気が改めてあさらいしてみましょう。

【どんな症状？】

男女とも、自觉症状がそれほどありません。これが流行の大きな原因といわれています。ほおってみると、他の性感染症にかかりやすくなったり、女性は炎症が進むと、不妊の原因になることもあります。さらに重症化するとクラミジアがおなかの奥の方まで広がって入院や手術が必要になることもあります。

クラミジアに感染していると、HIVにかかる可能性が3~5倍なるとの説もあり、あなたれません。また、病気にかかったら、女性のオッズもはるっとするイメージがありますが、クラミジアの場合、サラサラとした水っぽい状態になることもあります。要チェック！

【喉にもうつる！？】

クラミジアは、フェラチオ等で喉にもうつります。喉の症状はほとんどなく、気が付かない人がほとんど。口内で精液を受け取るサービスをしている場合、特に感染率が高いというデータもあります。

【予防するには？】

多くのSTIと同様、自分の粘膜や傷口と、相手の液体(精液、膣分泌液)が触れ合うことで感染します。本番、アナルセックスの際には、必ずコンドームを。ただし、コンドームを使いにくいスマタやフェラチオでもうつるので、クラミジア回避は難易度高し！?

【治療】

1日から1週間、薬を服用します。クラミジアは元々自覚症状がほとんどないものですから治ったかどうかの検査は必ず必要です。醫師と相談して1~4週間後に再検査をおこないましょう。

【定期的な検査が大事！】

多くの業種で標準のサービスとなっているスマタ、生フェラ、口内射出もうつる可能性があるため、この病気を完璧に予防するのはちょっとむづかしいのが現実ですが、症状がなかなか出ないこの病気、マメに検査をして、かかったら即気が付けて即治すのがとっても重要です。働いている時は、検査は月に一度程度を目安にいきましょう。クラミジアの早期治療が、他の病気への予防にもなります！

さてさて、不況の波がおしよせることの業界、客がつかない、収入がへった、となると、ついハードなサービスしなきゃかからずと不安になることが多い。

が！健常は何にもかがいたいとのぐうと思いつし、STIにかかったら仕事休まなきゃならないぞ！など、損得勘定も考慮にいれて、気を引き締めてお仕事に向かいたいものです。

◆STD研究所 <http://www.std-lab.jp/> ◆ヘルペス.jp 性器ヘルペス <http://herpes.jp/g/index.html>

profile タミヤリヨウコ

結婚歴無、パパ活ライター、気が付けば、性感染症のことばかり書いています。今までかかってたSTIは、クラミジア、カシングダ、オランジにかかるよりもカツラージーズ次ぐになりますよ！いつもありがとうございます。最近のあまり専門化したことがあります。最近は今そこにあるタイエイジ日本のエイズ(文芸社)など、◆大阪市立谷口医院 <http://www.stellamate-clinic.org>

◆SEXY MOUNTAIN <http://sexymountain.com/>  
◆NPO法人GINA <http://www.npo-gina.org>

セックスの安心と安全を考えるサイト



せくば  
<http://www.sexba.jp/>

HIV情報・検査情報サイト



エイズ予防情報ネット  
<http://api-net.jfap.or.jp/>



HIV検査・相談マップ  
<http://hivkensa.com/index.html>



HIVマップ(東京周辺)  
<http://hiv-map.net/>



陽性者サポートライン関西  
<http://posp.jp/>



MASH大阪  
<http://mash-osaka.com/>



プロラボSTD  
<http://pro.std-lab.jp/>